

農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定に基づき、公表します。

平川市長 長尾 忠行

市町村名 (市町村コード)	平川市 (22101)
地域名 (地域内農業集落名)	碓ヶ関① ( 碓ヶ関地域 )
協議の結果を取りまとめた年月日	(第1回) 令和6年3月15日 (第2回) 令和6年7月31日

## 1 地域における農業の将来の在り方

### (1) 地域農業の現状及び課題

- ・若い世代の人口流出が続き、後継者不足が深刻になっている。
- ・労働力が不足し、農地を維持することで精一杯である。
- ・冬期間の豪雪や春先の降霜など気候条件が悪く、農業で安定した収入を得るのが難しい。
- ・中山間組織で罌による対策を行っているものの、熊被害が増加傾向にあり、山手では耕作しづらい。
- ・出し手の農地は地理的条件が悪いことが多く、集約が困難である。

### (2) 地域における農業の将来の在り方

水稻・りんごともに拡大志向の農家へ集積・集約を図る。  
りんごでは、「剪定作業ができなくなった」ことを理由にリタイアする農業者が多いため、剪定作業員の確保により地域農業を維持する。  
また、鳥獣被害のある山手の農地は中山間組織等による対策を継続する。

## 2 農業上の利用が行われる農用地等の区域

### (1) 地域の概要

区域内の農用地等面積	331 ha
------------	--------

### (2) 農業上の利用が行われる農用地等の区域の考え方

農振農用地区域内の農地を農業上の利用が行われる区域とし、鳥獣被害の被害が大きい農地は管理を行う区域とする。

3 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用を図るために必要な事項

(1) 農用地の集積、集約化の方針
目標地図の実現を目指し計画的に農地集積を進めている地域の大規模農家を中心となり集積・集約を図る。
(2) 農地中間管理機構の活用方針
農業委員等を中心となり中間管理機構の活用を推進し集積・集約を図る。
(3) 基盤整備事業への取組方針
(4) 多様な経営体の確保・育成の取組方針
1、Uターン就農者への支援体制を整えるととも外国人労働者受け入れを検討するなど労働力不足対策を進める。
(5) 農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の活用方針

以下任意記載事項（地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組方針を記載してください）

<input checked="" type="checkbox"/>	①鳥獣被害防止対策	<input type="checkbox"/>	②有機・減農薬・減肥料	<input type="checkbox"/>	③スマート農業	<input type="checkbox"/>	④畑地化・輸出等	<input type="checkbox"/>	⑤果樹等
<input type="checkbox"/>	⑥燃料・資源作物等	<input type="checkbox"/>	⑦保全・管理等	<input type="checkbox"/>	⑧農業用施設	<input type="checkbox"/>	⑨耕畜連携等	<input type="checkbox"/>	⑩その他

<p><b>【選択した上記の取組方針】</b>          多面的組織による罨の設置</p>
---